

みんなのために

豊川小・2 平野 るき

ぼくは、家でお手つだいをしています。ネコにキャットフードと水をあげたり、妹のふくをきせてあげたり、ないたときにおなかをこちよこちよしてなきやませたりしています。

ママに一番おねがいされるお手つだいは、おへやのリセットです。ぼくには、一さい十か月の妹がいます。いろいろなものがさわりたくて、おもちゃをぜんぶ出してしまいます。自分でふくをきたがるので、引き出しにしまつてあるぼくのパンツとシャツとくつ下をぜんぶ出して、一生けんめいはこうとしています。そのすがたはともかわいけれど、さんねんながらかたづけられることはできません。だから、ぼくは、妹が出したおもちゃやふくをかたづけています。ママが、

「リセットして。」

と言ったら、ぼくのお手つだいはスタートします。ぼくがかたづけていると、妹もぼくのまねをしていっしょにかたづけてくれます。リセットするとへやが広く見えて気持ちがいいです。

さいきん、もう一つよくお手つだいでいることがあります。それは、しげんごみを出すお手つだいです。ペットボトルとカンとびんを分べつしてするのがぼくのしごとです。

いらなくなったごみをそのまますてないで分べつしてしげんごみで出すことで、また新しいものを作るざいりようを生む出すことを

リサイクルといいます。ぼくが分べつしたペットボトルは、ぶんぼうぐやふく、たまごのパックのざいりようになっているらしいです。

ママが、

「るきがママのお手つだいをしているだけじゃなくて、よの中のお手つだいでいるんだね。」

と、ほめてくれました。

ママだけではなく、みんなのやくに立てていて、とてもうれしいです。これからも、みんなのお手つだいががんばろうと思います。